

# ~とっても短いお話~

やらなきゃいけないとっても大事な仕事がありました。  
誰かがそれをやるだろうと全員が確信していました。

誰でもできる仕事だったけど、誰もそれをやりませんでした。それが誰にでもできる仕事だったので、ある人はとっても怒りました。

誰かがそれをできたはずだと全員が考えていましたが、誰もそれをやらないだろうということを、誰も実感していませんでした。

結局、誰にでもできることを誰もやらなかったなので、全員がある人に不平不満をぶつけました。